

☘ New Series 温泉めぐり…秘湯・悠湯・ゆけむりの郷さとをご紹介します

日本最北の温泉郷

豊富温泉

稚内支部

足立繁登

私はお城が好きで、毎年、ゴールデンウィークには家族でお城を見に行きます。但し、皆様と同じでGWにしか連休は取れず馬鹿高い2泊3日で行きます。

前は北九州、まず大分県で1城と1神社を観て、佐賀県ヘレンタカーを飛ばしました。因みに大分県には11城もあります。唐津から最後は城マニアの5つ星、NHK大河ドラマの“江”^{こゝろ}で有名になった名護屋城を観る目的でした。尾張名古屋城ではありません。その時には必ず地元の居酒屋での夕食と、1泊は温泉宿を取ります。

一昨年は由布院でした。全7室で各室露天風呂付き、その他に家族風呂が4ヵ所、驚きはGWにも関わらず、1泊1万6千円、食事のグレードも高く、北海道なら3万円以上はするでしょう。

普段でも温泉が好きで、松田温泉教授本なんかを見て道内も廻っております。

由布院ではさすがに湯量は豊かで透明感があり、肌馴染む感じが良く、往年の長嶋茂雄のように



現在の豊富町の温泉街

1泊4回入浴に挑戦しました。脇道にそれました。

豊富温泉はそれとは真逆に、大正に石油試掘の最中に天然ガスとともに温泉が出て、当時はガストーブとガス灯、ガス発電所にも利用し、近隣の炭鉱や漁師さんが体を休めたり、温めたりして湯治場として賑わい、町営の湯元館ゆもとかんもなんと一般会計に儲けを繰入れしていた程でした。というのも町の監査をやっていて、町営ホテルの経営問題で議会に意見を求められ、ここだけの話ですが偉そうに薬の専門家面して、断じて湯質の特徴を生かすべきとか何とか言いました。本当に各地の隠し湯などとは比べられません。

今では油分の多い油湯あぶらゆを求めて、全国から乾癬やアトピーに効果ありということで湯治に来ます。年々湯は薄くなってきていましたが、3・11東日本大震災後、油分が増えだし、30~40年前のようなタオルが真黄色に染まる程に近付いております。

現在は、4軒程の宿とホテルで後継者もできて頑張っておられます。どうぞ、一見の価値があります。ご堪能あれ。



日帰り入浴のふれあいセンター (豊富町営)

豊富温泉

所在地 天塩郡豊富町字上サロベツ1988番地の9
泉質 ナトリウム—塩化物泉
(高張性弱アルカリ性低温泉)
泉温 31.8℃ (混合槽) *気温13.1℃
適応 神経痛 筋肉痛 関節痛 五十肩 運動
麻痺 関節のこわばり うちみ くじき
慢性消化器病 痔疾 冷え性 疲労回復
病後回復期 健康増進 慢性皮膚病
切り傷 やけど 病弱児童 慢性婦人病
飲用 1回量は一般的に100mL~200mL程度
1日量はおおむね200mL~1,000mLまで
*夕食後から就寝前の飲用は避けること

町営ふれあいセンター

所在地 天塩郡豊富町字温泉
電話 0162-82-1777
入浴時間 8:30~21:00 第1月曜日:定休日
入浴料 大人 500円 小人 250円
泉質 ナトリウム—塩化物泉
(弱アルカリ性高張性低温泉)
泉温 32.8℃ 湧出量 100ℓ/分
施設 男女別内湯2カ所(新館)
旧館は湯治客向け
適応 アトピーや皮膚病
※お湯はぬるめ、緑がかった濁り湯で掛け
流し。表面に油膜が張り石油臭がある。